

「優秀施工者国土交通大臣顕彰」及び 「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」について

良質な建築物・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活や経済活動を支える「社会資本整備の担い手」であると同時に、災害対応の最前線を担う「地域の守り手」として、特に災害の多い我が国において重要な役割を果たしている基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的評価・地位の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、平成4年度より優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を実施しています。第35回目となる今年度は446名を顕彰し、これまでの建設マスター被顕彰者は合計13,762名となります。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設技能者の最高峰の顕彰である建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与えることを目的として、優秀な技術・技能を有し、今後更なる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、平成27年度より新たに青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）を実施しています。第12回目となる今年度は120名を顕彰し、建設ジュニアマスター被顕彰者は合計1,342名となります。

なお、今年度の被顕彰者のうち女性は、建設マスター1名、建設ジュニアマスター1名となっています。

※女性被顕彰者の職種

建設マスター：建設機械運転工1名

建設ジュニアマスター：電気工1名

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html

令和8年度被顕彰者の詳細

建設マスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
平均年齢	52.7歳	52.0歳	51.8歳
最も多い年齢(人数)	52歳(44人)	52歳(35人)	50歳・51歳(31人)
最低年齢	40歳	39歳	38歳
最高年齢	65歳	69歳	70歳
35～39歳の人数	0人	1人	3人
40～49歳の人数	139人	160人	170人
50～60歳の人数	254人	240人	231人
61歳以上の人数	53人	51人	48人
被顕彰者数	446人	452人	452人

○被顕彰者の主な職種

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
建設機械運転工	56 人(12.6%)	53 人(11.7%)	50 人(11.1%)
土工	54 人(12.1%)	53 人(11.7%)	58 人(12.8%)
大工(型枠大工含む)	29 人 (6.5%)	26 人 (5.8%)	31 人 (6.9%)
とび工	29 人 (6.5%)	32 人 (7.1%)	29 人 (6.4%)

建設ジュニアマスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
平均年齢	35.5歳	36.0歳	36.1歳
最も多い年齢(人数)	38, 39歳(21人)	39歳(24人)	39歳(31人)
最低年齢	27歳	28歳	27歳
最高年齢	41歳	41歳	41歳
～29歳の人数	5人	8人	4人
30～34歳の人数	40人	31人	30人
35～39歳の人数	71人	69人	82人
40歳以上の人数	4人	11人	5人
被顕彰者数	120人	119人	121人

○被顕彰者の主な職種

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
大工(型枠大工含む)	14人(11.7%)	10人 (8.4%)	13人(10.7%)
鉄筋工	10人 (8.3%)	12人(10.1%)	8人 (6.6%)
電気工	9人 (7.5%)	7人 (5.9%)	8人 (6.6%)